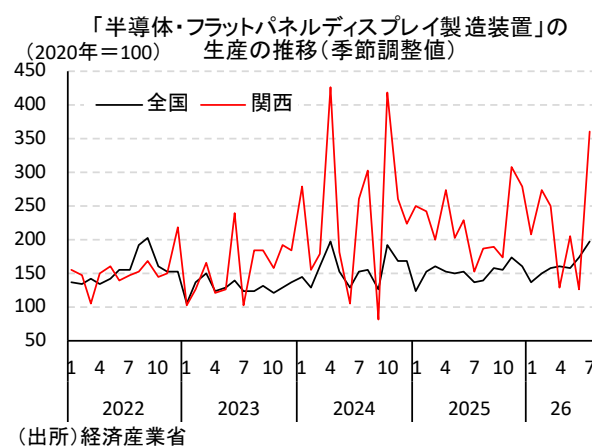
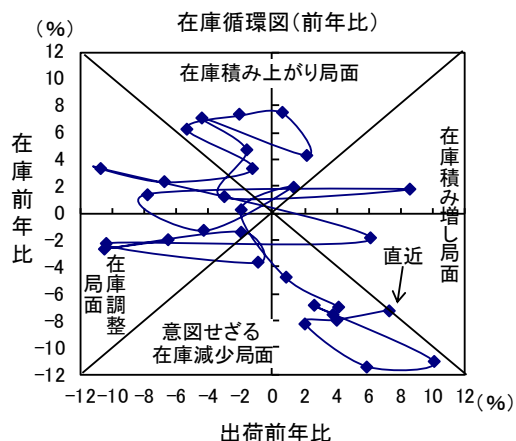
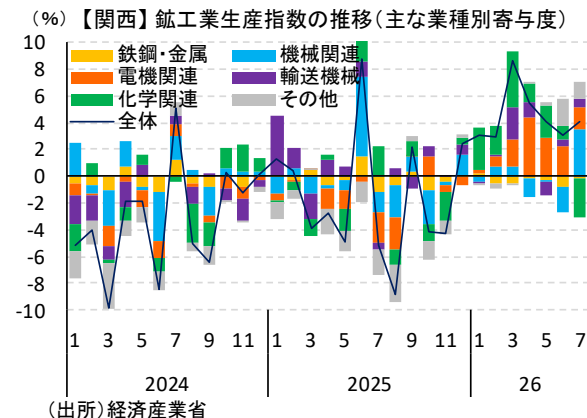
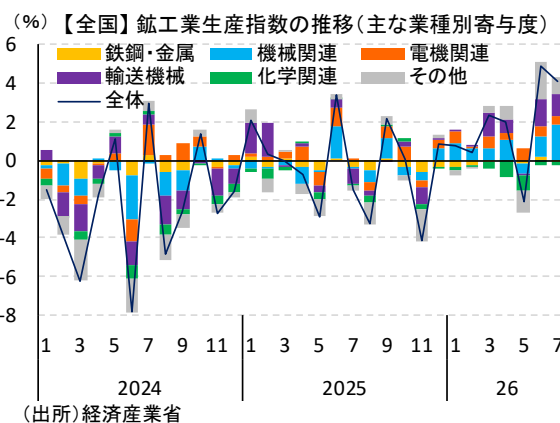


関西の景気トピックス【鉱工業指数（26 年 7 月）】

- 26 年 7 月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）によると、生産（原数値）は前年比で 3.1%増と、8 か月連続の増加となった。業種別には、エアコンなどを中心とした電機関連のほか、半導体製造装置を中心とした機械関連が伸び、全体を押し上げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月の「需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する」意図せざる在庫減少局面から、わずかに「需要拡大に伴って生産を増やし、在庫を積み増していく」在庫積み増し局面となっている。まだ明確な変化ではなく、来月以降の動向が注目される。
- 今月は 2027 年問題に伴うエアコンの増産や、半導体製造装置の突発的な増加が全体を押し上げるなど、その持続性については不透明感が強い。このところは生産の増加品目に偏りがみられることから、先行きには警戒が求められよう。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。